

エシカル推進事業

石井町 産業経済課

事業内容

平成29年度にエシカル自主宣言を行った町として、更にエシカル消費に対する機運を醸成するため、「石井町エシカルフェスタ」としてイベントを実施した。イベントでは、エシカル消費についての講演や発表、名西高校エシカルクラブ・町内エシカル推進団体の取組等の掲示、エシカルミニライブを実施し、エシカル消費普及啓発のための石井町エコバッグを配布した。

実施年度	令和元年度
予算	1,558千円
消費者行政強化 交付金活用額	779千円
対象	主に石井町民
参加人数	337名
宣伝方法	町の広報誌、ポスター ケーブルテレビ、SNS



石井町エコバッグの写真

○石井町エシカル宣言

石井町役場は人権や環境に配慮したまちづくりで、「支え合い育て合う、人の輝く町づくり」、「環境を考え暮らしを快適にするまちづくり」、「住民が主役の活力あふれる町づくり」などのテーマに取り組んできたこともあり、今後もやれること、出来ることを積極的に取り入れ、エシカル消費を推進していくと宣言した。

事業の特徴・ポイント

- ・四国大学エシカルソングプロジェクトで制作した「心にエシカル」を含む、シンガーソングライターの福富弥生氏のミニライブ及びエシカル消費について発表を実施。
- ・取組等の展示では、ココロおばちゃんの会(町内農業の女性有志：大きさが規格外など市場には出荷できないが、品質には問題ない野菜を有効活用して食堂を開き、子供たちに地元野菜のおいしさや、食の大切さを伝える活動を実施)や名西高校エシカルクラブの日々の活動を展示。
- ・エシカル消費の普及啓発のための石井町の名入れをしたマイバッグ等のノベルティグッズを配布。

期待される効果

石井町エシカル宣言や石井町エシカルフェスタを通してエシカル消費の理念を広く普及啓発、マイバッグを推進することで住民に日頃からエシカルの意識を持ってもらい、レジ袋の削減を図る。

エシカル消費啓発のために工夫した点・今後の課題等

- ・町内大型店舗でイベントスペースもあり、集客率の高いショッピングモールで行うことから、広報も多くの住民が参加するようチラシやSNS、ケーブルテレビなどで広く行った。
- ・町民が多く集まる会合やイベントにおいてエシカル消費の普及啓発を行い、住民に日頃からエシカルの意識を持ってもらうよう工夫した。
- ・町全体として人や社会、地域に配慮し、持続可能な社会の実現を今後も目指す。

事業の効果、成果

- ・制作したエコバック2,289枚はイベント前後(令和元年11月~12月)で全て配布した結果、町内小売店舗などで買物する際にも所持者をよく見かけることから、住民のエシカル消費に対する意識は向上したといえる。
- ・町内小売業者へアンケート調査を実施した結果、レジ袋の配布枚数は令和元年7月に比べ令和元年12月は約60%~90%程度削減されているという結果が得られた。

以上のことから、住民のエシカル消費に対する意識高揚、レジ袋削減の目標は概ね達成できたと考える。